

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (42) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 10 月 18 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 36 金曜癒やし集中(使 1:8)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 36 土曜サミット集中(使 19:8)	△核心 礼拝集中の力(使 2:1-4)
□序論_この集中は世界の門になる。 1. 先進国で一番多い病気がうつ病、精神病だ。 2. 後進国- 100%重症患者 島国から来た大統領、総理、国会議長このような人々が韓国に来たが身体検査をした。すべてみな重症患者だ。 3. イスラエル(信徒)-違うこと(間違ったこと) さらに深刻なことはイスラエル(今日信徒)だ。彼らは神様が本当に願われることなく、違うことをしていて、間違ったことを悟ったのだ。病気になるしかない。 □本論_根源癒やし 神様がしてはならないと言われること(心配、不信仰、人間中心主義、誹謗、罪に定め、戦い、分裂)だけする。神様は根源を癒やされるのだ。 1. 運命癒やし(1:1-8) 1)キリスト(ヨハ 14:6)でなければ運命は変わらない。わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。 2)御座の背景を持った。 3)聖霊が働かれる。まことの力を与えてくださるということだ。 2. 宗教癒やし(11:1-8)救われておいて、また要らないことを言う。多民族が来たのに、神様のみことばで助けなければならない。 1)過去 2)伝統 3)制度 これが重要でもあるが、超えなければならない。 3. 生活癒やし(1:8)過去の中に陥っている人がどのように未来を見て、傷の中にいる人がどのように世界を生かすのか 1)ただ ほかの心配をしてはならない。病氣も治してくださいと言わないように。ただ。 2)唯一性 3)再創造 これが生活癒やしだ。 4. 病氣癒やし(Ⅲヨハ 1:2)はついてくる。医師の話をよく聞かなければならない。しかし、順序がある。 1)「たましいに幸いを得ているように」霊的な力が先に起こらなければならない。 2)「すべての点で」神様の働き。 3)「健康であることを」最も重要なことは根源癒やしをしなさい。 5. その後に霊的癒やし起こる。 1) 1 キャンプ 聖霊がともにおられるので聖霊が導かれる。 2) 2 キャンプ 聖霊の働きで 4 番を治すことができる。 3) 3 キャンプ さらに重要なこと、未来だ。準備しなければならない。聖霊の実。 □結論_根源的な力 根源を癒やしただけではなく根源的な力を得なさい。 1. 根本、基本、基礎 300%しなさい。根本は霊的状态、基本は姿勢、基礎は実力を言う。 2. 12 地域の黄金漁場を見つけなさい。イエス様が残された 12 弟子、地域とその下に従った 70 人重職者。 3. 毎日 毎時 毎事件 力を得なければならない。300%	レムナントと TCK は土曜日にサミット訓練を受けなければならない。最も重要な方法が集中だ。 □序論_タラントの根源 1. タラントの始まりは 7 やぐらを備えることが急務。天才というのは天から与えられたこと 2. 7 旅程を祈りの中で味わうということは、タラントを確認すること 3. 7 道しるべを一日一度でも祈るということは、神様の作品が作られなければならないこと □本論 1. 先に味わったこと <u>7</u> みことば、キリスト、常に、礼拝、ただ、唯一性、再創造。土曜日に集まる理由は 1)たくさん見るようにすること 2)タラントを見なければならない 3)専門性をあらかじめ備えること。 2. 必ず見ること(完全性) 1)キリスト完全性(使 10:1-9) 分かなければ何もうまくできなくなっている。 2)礼拝(祈り)完全性を見られなければ教会に行ってください話をして、くだらない考えをする。 3)答えの完全性(使 19:8) -御座の力が現れて、神の国が臨んで、私を通して神の国のことが成就する 3. 方法 1)編集、設計、デザイン 2)職業を 300%にすること 3)サミット △これ(メッセージ全体)を 7 レムナントが持ったのだ。 □結論_一度証人 一日に一度、あるいは一週に一度でも集中しなさい。そのときから証人として行く。	どうすれば良いのか。質問すること自体がすでに答えが始まったこと。世界福音化の始まり、答え、一番重要視すること-礼拝に集中する生活とその力。契約を握って降りてきた力が臨んだ(使 2 章) □序論 1. 礼拝の理由 1)人間の本質的祝福 2)神様の御声を私の良心で聞くことが礼拝 3)癒やし、サミット、237 -癒やしが起こるほど礼拝、礼拝時間はサミットになる時間→ 237 が目に見える。 2. 礼拝の内容 1)主日- 1, 3, 8(キリスト、神の国、ただ聖霊が臨む時間) 2)三つの祭り-集中 過越祭を通過した人に五旬節の日が臨んで御座の背景(仮庵祭)を味わうようになる。 3)受容、超越、答えを見つけ出すのが祈りで、礼拝だ。 3. 礼拝以降 1) 5 つの流れのポイント 2) 6 日間味わう答えを持って行かなければならない。 3)ものすごい力を得ていくことが礼拝だ。 □本論 1. 40 日 1)使 1:3、8 40 日間説明して、ただ聖霊を約束 2)使 1:14 ほかのことが必要ないという確信を持って死と関係なく集まった。 3)使 2:17-18 未来を知らせてくださった。 4)使 2:42 礼拝のとき、みことばの流れが見える。 5)使 2:46-47 毎日みことばが成就した。 2. 礼拝に集中するとき重要なこと 1)答えを見つけなさい。 2)祈りで刻印させなさい。 3)六日間、祈ることを確定しなさい。 3. 流れが見える。 1)みことばが今私にどこまできたのか 2)祈りの流れ 3)伝道の流れを確認 4)現場に行けば、必ずここで私がしなければならない伝道を質問する。現場の流れを見ること 5)一つの国の霊的流れを見ること 4. 背景が出てくる。 1)御座の流れ-やぐらが見える。 2)御座の旅程、この流れが見える。 3)道しるべどこへ行くのか、何をすべきなのか見える。 5. 最後のこと 1)毎日力を得なさい。朝にすべてを回復、昼に確認、夜に答えを得ること 2)毎時 神様が働かれるのを確認しなさい。感謝が自然に出てくる 3)毎事件 300%しなさい △今どんな答えが起こっているのか。御座の力が三位一体の神様とともに皆さんに働かれる。集中して力で体験するのが礼拝だ。皆さんが祈る所に神の国が臨む。待っていれば神の国のことが成し遂げられる。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (42) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 10 月 19 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 42 週 伝道再生産(使 2:41)	△聖日 1 部 神様の真の計画は別のところにある(使 10:1-6)	△聖日 2 部/237 宣教委員会献身礼拝 伝道、宣教できる人々(使 11:1-18)
使 9:36-43、使 10:1-6、使 16:15、使 17:6、I コリ 16:19 私たちが人に会ったとき、その人がどんな人なのか先に分析するようになるが、それを分かなければ多くのことを逃すことになる。私たちが神様のみことばを受けるたびに今はどんな祝福を受ける時間なのかを正確に分かなければならない。今日の区域テキストは、女弟子タビタという人がその地域で受けた答えを見ることだ。コルネリウスを救うために皮なめしシモンの家で休んでいたペテロを呼ばれ、パウロを契約が分かる重職者アナニアのそばで呼ばれた。この契約を握って受ける祝福がリディアの家とヤソンの家、プリスカとその家にある教会だ。また、地教会メッセージだ。 □序論 1. 実を結ぶ祝福-レムナントが生かされて、祈りの力ができて、生かされて、職場の中に神様の働きが起こるとき、 2. 再生産運動が起こり、3. 世界福音化となる。 ヨハ 14:16 助け主聖霊があなたがたとともにいるだろう。 ヨハ 14:26 聖霊はあなたがたにすべてのことを思い起こさせてくださる。 ヨハ 16:13 永遠にあなたがたとともにいるだろう。 使 1:8 聖霊に満たされれば力ができる。 使 2:1-47 マルコの屋上の部屋に神様の力が臨むようになる。 □本論_ 300%(ただ) -集中 1. 奥義 1) キリスト、神の国、聖霊(1, 3, 8) -目に見えない答え、神の国。聖霊の働きから来る。 2) やぐら、旅程、道しるべ-やぐらが作られて、そのやぐらで旅程を進み、道しるべを建てる。 3) 再生産-産業に、学業に、伝道に再生産の働きが起こる。 2. 伝道 1) タラツパン-ただを持って発見したタラツパン 2) チームの働き-人に会えばこの証拠を話すチームの働き 3) M. H -我が家に神の国が臨むミッションホーム 4) 専門の働き-職場、産業に神様の働きが起こるのを待つ専門の働き、専門教会 5) 地教会-一つの地域に光が照らされる地教会 3. 神様の時刻表 1) 公生涯→ユダヤ人思想を跳び越える。 2) カル、オリ、マル→群衆→弟子-カル、オリ、マルコの屋上の部屋に案内して、群衆でなく弟子だ。 3) アンティオキア-コルネリウスになぜ行ったかというその思想ではない。私の考えを跳び越えなければならない。 □結論 1. いのち運動が起こらなければならない。 2. 霊性運動が起こり、ほかの人が生かさなければならない。 3. 再生産運動-神様のみことばを今強く握りなさい。	□序論_困難、危機、失敗にあったとき、どのようにすべきか。 1. 神様の計画は完全に違ったところにある。 1) 神様の計画を見つけるのが祈り 2) 神様はより良いこと、考えることもできないこと、偉大なことを備えられた。 2. 神様の計画を発見した人々 1) レムナント 7 人 (1) ヨセフ(家庭問題)-最初から神様の本当の計画(世界福音化の具体的な答え)を持っていた(創 45:5) (2) 遅く悟ったアブラハムとモーセ、早く悟ったヨセフ、サムエル、ダビデ。 2) ヘブ 11 章の人々-信仰は望んでいることを保証(実像)し、目に見えないものを確信(証拠) 3) ジョン・パニヤン(16 年監獄刑) -天路歷程 3. 神様の計画をどのように見つけるのか 1) 困難にあったがユダヤ人、マケドニア、ローマに勝った初代教会 2) 困難に傷ついたり、そのまま通りすぎてはならない。 3) 落胆せずに、とんでもない勇気を出すこともせず、神様の契約の中で答えを見つけない-礼拝、祈り □本論_神様の計画はどこにあるのか 1. 本来の契約を回復する所-皮なめしシモンの家 1) 本来の福音回復 (1) 創 3:15 サタンの権威を打ち破るキリスト (2) 創 6:14 箱舟 (3) 出 3:18 血のいけにえ (4) イザ 7:14 インマヌエル-最も大きな答え、最も必要な答え、まことの成功 2) アブラハムに与えられた栄光の回復-あなたとあなたの子孫によって、国々が祝福、立ちはだかる者はいないという契約を握って、祭壇を築いたことで終わった 3) 奥義のやぐらを建てて証人として生きるということ 2. キリストが与えられたことを回復する所 1) 御座のプラットフォーム-やぐら 2) 御座の見張り台-旅程 3) 御座の 300%答え-道しるべ 3. 時代を生かす計画 1) コルネリウス-ローマ 2) ローマ-その中に 237 3) 237-その中に 5000 種族 □結論_福音を伝える人と教会に与えられた約束 1. 10 の奥義-どんな場合も生き残る(カルヴァンの 5 大教理)、霊的な目、無競争、サミット、絶対不可能の中に行って神様の力ですること 2. 神様の絶対計画を見つければ、そのときから働きが始まる 3. 困難の中で答えを発見したヨブ 1) 与えられた方も主、取られる方も主 2) 私を贖う方は生きておられるので私が主に会う時はからだの外で会う 3) 神様のみこころは定まっている。私を鍛えられた後に純金のように出てくるだろう。 4. 礼拝して神様の計画を見つけない。 1) 傷は霊的ながん、問題には答えがある。 2) 霊的な病氣-力を得れば霊的使命感となる。 3) RT は過去を土台に、病んでいる者は神様の力を信じなさい。別の世界がある。	創 37:11 ヨセフが話した世界福音化を心にとどめたヤコブ 創 45:1-5 総理になって世界福音化したヨセフ 出 2:1-10 母親から契約を聞いたモーセ 出 14:19 モーセ行く道に主の使いを派遣 I サム 1:9-11 この契約を握って祈ったハンナ I サム 7:1-15 サムエルにミツバ運動として I サム 17:1-47 ダビデがゴリヤテを倒してペリシテに勝つ働きとして起こる。 ダニ 3:8-24 イザヤが与えた契約を握った人々がバビロンで神様の働きを証し ダニ 6:10-22 この契約を握ったダニエルは王を生かすほど働きが起こった。 エス 4:1-15 エステルを通して国が生かされて世界福音化の門が開いた。 使 13、16、19) ことは今も起こっている。 この契約を握って信じる人は伝道、宣教できる人だ。 □序論_使 11:1-18 宣教できない人々-ユダヤ人が持っている考え、私たちが持っている力では世界福音化できない。 1. 過去に捕らわれている。2. 現実の雰囲気 3. 世論 4. 制度 5. 風習 6. 伝統に従って行けば世界福音化不可能、把握して超えるべき。 7. 律法で福音を止めた。 □本論_使 11:19-30 世界福音化した人々 1. 散らされた者(19 節) 運命が変わって、ほかの人の運命を変えた者 1) 創 13:18 アブラハム 2) この契約を握って運命が変わった RT7 3) 散らされた者のように見えるが派遣された者 △レムナントは捨てられた者のようだが残りの者だ。旅人のように見えるが征服者だ。全世界の霊的伝染病を止めるのが福音だ。 2. 恵みが見えて(23 節) 目が開かれたこと-信じなさい。 1) 過去、今日、未来を祝福にすることが福音 2) 問題、葛藤、危機を答えにすること 3) 御座のやぐら、旅程、道しるべを回復-御座の背景が私たちの背景 3. 弟子の大勢の群れが起こる(26 節) 24、25、永遠 1) マタ 28:1-20 天と地のすべての権威-いつもともに 2) マコ 16:15-20 悪霊につかれた者、病んだ者を癒やし 3) 使 1:1-14 迫害が始まる △この目が開かれた人々がアンティオキア教会の人々だ。ただ福音だけとなればすべて解決される。 □結論_これから与えられる答え 1. 使 27:24 危機にあったところに行ってみことばを与えて暴風を静める 2. 使 28:30-31 だれも福音を防ぐ者はいない。 3. ロマ 15:23 イスパニアまで行かなければならない。 4. ロマ 16:25-27 神様が隠されていたことを皆さんに与えられる。 △神様がくださる力で待ちなさい。ただ!これがすべてを生かす単語だ。